

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【公開番号】特開2015-5942(P2015-5942A)

【公開日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2013-131380(P2013-131380)

【国際特許分類】

H 04 R 3/00 (2006.01)

H 04 R 1/02 (2006.01)

【F I】

H 04 R 3/00 3 2 0

H 04 R 1/02 1 0 8

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月14日(2016.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マイクロホンケースに防振部材を介してマイクロホンユニットを固定してなるハンドヘルドマイクロホンであって、

上記マイクロホンユニットからの出力信号に対しフィルタ処理を施すフィルタ回路を有していて、

上記フィルタ回路は、上記マイクロホンユニットの出力端に接続されるノッチフィルタと、上記ノッチフィルタの後段に接続され上記マイクロホンユニットからの信号を出力するハイパスフィルタと、を有することを特徴とする、

ハンドヘルドマイクロホン。

【請求項2】

上記ノッチフィルタはパッシブフィルタであり、上記ハイパスフィルタはアクティブフィルタである請求項1記載のハンドヘルドマイクロホン。

【請求項3】

上記ハイパスフィルタは2次のハイパスフィルタである請求項1または2記載のハンドヘルドマイクロホン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、マイクロホンケースに防振部材を介してマイクロホンユニットを固定してなるハンドヘルドマイクロホンであって、上記マイクロホンユニットからの出力信号に対しフィルタ処理を施すフィルタ回路を有していて、上記フィルタ回路は、上記マイクロホンユニットの出力端に接続されるノッチフィルタと、上記ノッチフィルタの後段に接続され上記マイクロホンユニットからの信号を出力するハイパスフィルタと、を有することを最

も主要な特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

まず、本発明に係るハンドヘルドマイクロホンの基本的な構成の例について、図2を用いて説明する。図2において、ハンドヘルドマイクロホン1は、マイクロホン筐体であるマイクロホンケース12の先端部に防振部材（サスペンション）であるショックマウント11を介して、マイクロホンユニット10を支持してなる。使用者がマイクロホンケース12を持すると、マイクロホンケース12全体にその振動が伝搬する。しかし、その振動はショックマウント11によって減衰されて、マイクロホンユニット10へは伝搬しない。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

図5に示すように、ハンドセットマイクロホン1の周波数応答は、ショックマウント11における共振周波数である70Hz付近の出力を、ノッチフィルタ21によって減衰させている。また、ノッチフィルタ21によって減衰してしまう100Hz付近の周波数応答を、ハイパスフィルタ22によって改善している。